

【2022 年度 AMDA カンボジア支部 活動報告】

(後援: (株)山一観光、AMDA インターナショナル)



活動概要:

2022 年度において AMDA カンボジア支部は主にボランティアの学生を対象とした 2 つの活動を実施しました。

1. リプロダクティブヘルス(性と生殖に関する健康)に関するワークショップ
2. 新型コロナウイルス感染予防用資材の継続的な提供

◆リプロダクティブヘルスと子宮頸がんに関するワークショップ

関係各所のご支援をいただき、AMDA カンボジア支部は、2022 年 12 月 5 日と 10 日の 2 回に渡って、チェンラ大学と共同で、ボランティアの学生を対象とした”性と生殖の健康および権利”に関するワークショップを開催しました。

① 12 月 5 日に行った第 1 回目のワークショップは、子宮頸がんに関する講義です。現在の状況に照らし合わせて、病院や大学等から専門家や学者を多く招き、この病気がもたらす社会的影響について話を聞きました。当日の参加者は 60 名を数えました。





② 同じく5日後の12月10日に行われた第2回目のワークショップでは、『生殖に関する健康と権利、そして未来』と題した講義を行いました。若者が享受すべき生殖活動における健康と権利、とりわけ地方の女性をとりまく生殖に関する権利(子どもを産むか、産まないか、いつ、何人子どもを持つのか等を自分で決められる権利)について、NGO、大学、研究者が一緒になり、現状について説明しました。この日の参加者は75名でした。

ワークショップの運営費から、必要な資材、飲み物の用意に至るまで、山一観光様のご支援を活用させて頂きました。

◆新型コロナウイルス感染予防用資材の継続的な支援

現在も新型コロナウイルスの影響下にあるカンボジアにおいて、AMDA カンボジア支部は地方でボランティア活動を行っている学生に対し、マスクや消毒用アルコール、除菌用のジェルなどを継続的に配布しています。またボランティア活動で必要となる文具類や携帯用のバッグなども提供しています。

◆その他

AMDA カンボジア支部はこれまで HIV や AIDS、性感染症予防に関する啓蒙活動を一貫して行ってきました。この度、学生ボランティアを通じて配布される若者向けのパンフレットや冊子を増刷しました。追加で新たに1万部のパンフレットと500冊の冊子を用意し、地方の学校で学ぶ青少年に配布することになります。

～AMDA カンボジア支部より感謝に寄せて～



AMDA カンボジア支部を代表して、山一観光の皆様による継続的なご支援に対し、厚く御礼申し上げます。

皆様からのご支援は、カンボジアの若い世代の人たちのリプロダクティブヘルスの向上を実現する上で、大変重要なものです。私たちの活動を維持し、様々なプロジェクトを行っていく上で、非常に有用性が高く、大いなる助けとなっています。2022年度も皆様方のおかげで、有意義な啓蒙活動を行うことができました。ありがとうございました。

繰り返しになりますが、山一観光の皆様には最大限の敬意を表し、重ねて御礼申し上げます。

2023年4月3日、プノンペンにて

AMDA カンボジア支部長
シエン・リティ